



平成 29 年 11 月 14 日

港湾局産業港湾課

**第 18 回北東アジア港湾局長会議および  
第 18 回北東アジア港湾シンポジウムの開催結果  
～日中韓の港湾関係者が港湾の発展のために意見交換を行いました～**

平成 29 年 11 月 7 日(火)～11 月 8 日(水)の間、中国青島市で「第 18 回北東アジア港湾局長会議」および「第 18 回北東アジア港湾シンポジウム」が開催され、日中韓三国間の緊密な連携を促進し、三国の港湾の発展のために意見交換が行われました。

### 1. 第 18 回北東アジア港湾局長会議（参考 1）

北東アジア港湾局長会議は、1995 年から 1999 年の間、年 1 回開催された日韓港湾局長会議をベースに、2000 年より中国が加わり拡大したもので、三国の港湾の発展のため港湾行政全般にわたり広範に意見交換を行うものであり、今回中国青島市で第 18 回が開催されました。

会議では、まず各国の代表から「知恵みなと（Smart Port）」をテーマとして報告があり、活発な意見交換が行われました。日本からは、港湾における情報化戦略について紹介を行いました。

また、作業部会において取り組んでいる「日中韓における港湾法制度の比較研究」、「コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究」、「北東アジアにおける港のにぎわいづくり」、「沿岸環境の変化と対策の効果」の四つのテーマについて報告が行われました。

なお、次回の第 19 回北東アジア港湾局長会議は、平成 30 年に日本で開催される予定です。

### 2. 第 18 回北東アジア港湾シンポジウム（参考 2）

局長会議翌日の 11 月 8 日には、第 18 回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました。日中韓の官民の港湾関係者約 130 名が集まり、「知恵物流（Intelligent Logistics System）」及び「自動化ターミナル（Automated Container Terminal）」をテーマに三か国の専門家から発表があり、その後発表者と参加者による熱心な意見交換が行われました。また、青島港国際股份有限公司より青島港の最新の状況について紹介がありました。

【問い合わせ先】 港湾局産業港湾課国際企画室 榊原、水島  
(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46469、46465 (FAX)03-5253-1651

## 第 18 回北東アジア港湾局長会議

(11 月 7 日 (火) 9:00-17:00 中国・青島市、バダグアンホテル)

### 出席者

- 日本 (国土交通省港湾局技術参事官 浅輪 宇充をはじめ 7 名)
- 中国 (交通運輸部水運局副局長 柳 鵬をはじめ 22 名)
- 韓国 (海洋水産部釜山港建設事務所長 金 昌均をはじめ 10 名)

### 主要議事

(ア) 「知恵みなと (Smart Port)」をテーマとした情報交換

発表者：日本) 国土交通省港湾局技術参事官 浅輪 宇充

「Informatization Strategies on Japan Ports」

(日本の港湾における情報化戦略)

中国) 交通運輸部水運局副局長 柳 鵬 (Liu, Peng)

「Briefing on the development of China's ports and Smart port」

韓国) 海洋水産部釜山港建設事務所長 金 昌均 (Kim, Chang Kyun)

「Korea's Country Report」

(イ) 共同研究の報告

作業部会で取り組んでいる以下の 4 つのテーマについて、作業部会を代表して、中国交通運輸部交通運輸部 周課長が進捗状況や今後の取り組みについて報告を行いました。

- ・ 日中韓における港湾法制度の比較研究 (中国提案)
- ・ コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究 (韓国提案)
- ・ 北東アジアにおける港のにぎわいづくり (日本提案)
- ・ 沿岸環境の変化と対策の効果 (中国・韓国・日本合同)

(ウ) 第 19 回北東アジア港湾局長会議

開催時期、開催場所などについて意見交換を行いました。

(エ) 「知恵みなと」に係る機関の取り組みについての紹介

- ・ 交通運輸部中国水運科学研究院 副研究員/

APEC ポートサービスネットワーク (APSN) 事務局

Lu, Cheng 氏

「Green Port Award System」

- ・ 国家物流情報プラットフォーム管理センター ディレクター/NEAL-NET 事務局

Shen, Guoqing 氏

「Regional Logistics Information Sharing Cooperation」

### 議事録署名

上記内容について三国間で署名しました。

### 今後の予定

来年、第 19 回北東アジア港湾局長会議を日本で開催する予定です。

## 第18回北東アジア港湾シンポジウム

(11月8日(水) 14:00-18:00 中国・青島市、バダグアンホテル)

### 参加者

日中韓の官民の港湾関係者合わせて約130名  
(日本：40名、中国：53名、韓国：37名)

### プレゼンテーション

#### ○テーマ1「知恵物流 (Intelligent Logistics System)」

- ・事例発表1 日本：輸出入・港湾関連情報処理センター(株) ソリューション事業推進部  
次長 根木 貴史 氏  
「Overview & “Key features” of NACCS Supporting Trade & Port Procedures」(輸出入・港湾関連手続を支援するNACCSの概要及び特長)
- ・事例発表2 韓国：韓国海洋水産開発院 ディレクター Kim, Geun Sub 氏  
「Port 4.0, Next Generation Port」
- ・事例発表3 中国：中国廈門港務ホールディンググループ有限公司 理事長  
Chen, Dingyu 氏  
「The Effect of Environmental Change on the Port and Coping Strategies」

#### ○テーマ2「自動化ターミナル (Automated Container Terminal)」

- ・事例発表4 日本：阪神国際港湾株式会社 理事/国際港湾協会 副会長 篠原 正治 氏  
「Container Terminals -Productivity, Automation and the Future-」  
(コンテナターミナルの生産性・自動化・将来)
- ・事例発表5 韓国：韓国海洋水産開発院 ディレクター Choi, Sanghei 氏  
「The Trend & Effectiveness of Automated Container Terminal」
- ・事例発表6 中国：上海振華重工(グループ)股份有限公司 CTO He, Gang 氏  
「ZPMC's Exploration and Thoughts」

#### ○「青島港の紹介」：青島港国際股份有限公司 社長 Jiao, Guangjun 氏

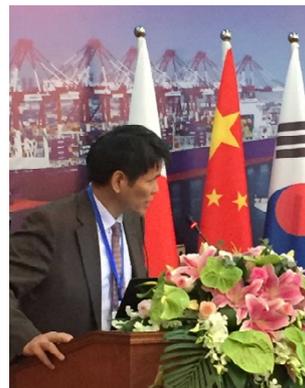
「Implementing Internet Strategy to Building Intelligent Port」

## 第 18 回北東アジア港湾局長会議（11 月 7 日開催）



（日本浅輪技術参事官、中国柳水運局副局長、韓国釜山港建設事務所長）

## 第 18 回北東アジア港湾シンポジウム(11 月 8 日開催)



（左：発表される篠原理事、右：発表される根木次長）



（シンポジウムの様子）